

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 2月26日

事業所名 だいじ

|              | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標  |
|--------------|---|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備      | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である   | ○  |     |   |   |
|              | 2 職員の配置数は適切である  | ○  |     | 子育て中の職員は家庭事情による急な休みが多くなるが、有能な職員の確保のために事業所として理解と協力をしている。           | 記録を書く時間を短縮できるよう、PCを増やした。また、1対1を要する利用者が多い事については、職員の対応力を向上させる研修に努める。家庭事情により急な休みが多くなる職員の補完をする職員の負担軽減が課題である |
|              | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている  | ○  |     |   | 更なる安全対策に努める   |
|              | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している                                     | ○  |     | 記録システムにより全員のPCで記録の共有ができるのが有効である                                   | 時間を取るのが困難という指摘あり  |
|              | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                          | ○  |     |   | 保護者会の回数を増やしていく  |
|              | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している  | ○  |     |   |   |
|              | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている  |    | ○   |   | 外部の評価について検討する   |
|              | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している   | ○  |     | WEB研修、講師招聘しての研修を実施している  | 研修の成果が現れているのか検討が必要  |
| 業務改善         | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している                      | ○  |     |   | 適切に作成するように努める   |
|              | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                     | ○  |     | WISC-V、言語発達実施を行う態勢を整備している   | 以後ツールによるアセスメントを増やす。   |
|              | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている   | ○  |     | 作業療法士、保育チームの連携が取れている  | チームワークが良くなっているので、話し合いを充実させるよう努める  |
|              | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | ○  |     | 畑、花壇、広い遊び場と屋外の環境に恵まれている   | 子どもの状況によって固定してしまう場合もあるので、更に研修を行い、対応力の向上を図る  |
|              | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している   | ○  |     | 収穫した野菜を販売する体験や保育園児を楽しませる行事などを取り入れ、療育の効果を上げている                     | 社会性を伸ばす目的で社会教育施設に出向く機会を増やしていきたい   |
|              | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している                                | ○  |     | 集団活動ができるようになると、トラブルもあるが友情や思いやりを示す機会が増えるので、本人やご家族にフィードバックするようにしている | ・当日の気持ちの変化をスタッフ同士で声かけあって活動を柔軟に変更するなど、ゆとりを持たせられるようにしている。   |
|              | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                 | ○  |     |   | 打ち合わせの機会を作ってもなし崩しになるので、ルールとして行うようにする  |
|              | 16 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                             | ○  |     |   | できるだけ行っているが、必ず行えるように努める   |
|              | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている  | ○  |     | クラウドデータで全員が記録等を共有できる  | 支援の検証・改善に繋がるように努める  |
|              | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                                      | ○  |     |   |   |
|              | 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている   | ○  |     |   |   |
| 適切な支援の提供     | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している                              | ○  |     |   |   |
|              | 21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている          | ○  |     | 年に数回の情報交換を行っている   | 職員間で情報を共有して内容を把握し、学校と連携して対応している。  |
|              | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                                      |    |     |   | 該当なし  |
|              | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                         |    |     |   | 該当なし  |
|              | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している              |    |     |   | 該当なし  |
|              | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                   | ○  |     | 大学講師を招聘しての研修（毎月）、他事業所講師による研修随時、WEB研修随時実施している                      |   |
|              | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある  | ○  |     | 保育所等訪問支援事業により、仲よし会との連携ができています                                     | 敷地内の保育園児との交流を持っている  |
|              | 27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している  |    | ○   |   | コロナ禍により開催機会がありません   |
|              | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                 | ○  |     | 連絡帳によって毎回連絡を取り合っているが、顔を合わせる機会が少ない                                 |   |
| 関係機関や保護者との連携 | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                                | ○  |     | 保護者研修を実施する予定である   | 家庭支援のプログラムを取り入れるよう検討する  |
|              | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | ○  |     |   |   |
|              | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                       | ○  |     |   | 保護者会や日々の面談で行っているが、一層充実するように努める  |
|              | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                   | ○  |     |   | まだ参加したことのない保護者の方もお誘いできるような魅力ある会にしてい   |
|              | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している             | ○  |     |   |   |
|              | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                               | ○  |     |   | 内容の充実を図る  |
|              | 35 個人情報に十分注意している  | ○  |     |   | 個人情報の保護に努めている   |
|              | 36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | ○  |     |   |   |
|              | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | ○  |     |   | だいじ祭りを行い、敷地内の保育園保護者や地域の方に施設を開放した  |
|              | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | ○  |     |   | 周知が不十分なので、周知に努める  |
| 保護者への説明責任等   | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | ○  |     | 避難誘導訓練、災害等対応机上訓練を行っている  |   |
|              | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | ○  |     |   |   |
|              | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○  |     |   | 新入職員への周知が不十分だったので周知に努める   |
|              | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | ○  |     | 職員間で情報を共有している   |   |
|              | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | ○  |     |   | ヒヤリハット会議記録を以て事例集としている   |
|              | 非常時等の対応   |    |     |   |   |